

学校教育目標

自主の誇りをもち、未来を拓く力をもった生徒の育成

目指す生徒像

- ◎自ら学び、互いに高めあう生徒 (学力向上)
- ◎思いやりのある生徒 (心の教育)
- ◎志とやり遂げる力をもった、たくましい生徒 (キャリア教育)

目指す学校像

- 「笑顔と歌声、夢のあふれる霞ヶ関中学校」**
- ◎活力に満ちた学校
 - ◎温かな学校
 - ◎きれいな学校

①学ぶ喜び・高めあう意欲にあふれた学校

明確な学力向上の目標を持ち、生徒が「分かった」という実感を獲得できる授業の実践する。そのために ○より一層の指導法の工夫改善 ○言語活動を重視した「学び合う授業」 ○ICTの活用、導入の工夫による「惹きつける授業」 ○確固たる授業規律の徹底 の四つの重点に基づき「みんなで8ろう」「やるべ4」を徹底し、引き続き「か・す・みラーニング」の深化充実を推進する。

②一人一人を大切に、鍛え、はぐくみ、力を発揮させる学校

学級経営を生徒指導の根幹と捉え、生徒一人一人の「自己指導能力」の獲得のために、学校全体として、同じ方向性を持って、意図的計画的に、一人一人の出番や活躍の場を用意し、その成果を大切に認め、自己肯定感を持たせるよう、指導・支援を行う。学級活動等、さまざまな活動の中で、日常的に自己決定の場を用意することで、生徒の主体性・協調性・社会性を育むとともに、最後までやり抜くよう、意図的な指導、支援を続け、厳しさと優しさのバランスをとりながら鍛え、はぐくみ、そして、力を発揮させる(成功体験)＝志を育む教育を行う

③思いやりにあふれ、笑顔であいさつできる「いじめ0」の学校

「いじめ0の学校づくり」のために、生徒同士、生徒と教師の人間関係、信頼関係づくりに重点を置き、より開発的な教育相談活動、人間関係づくりプログラム、ソーシャルスキルトレーニング、個別の適応指導プログラムを計画的に推進していく。特に、人との関わり方、思いやりのある人間関係作りの基本として、心からの「あいさつ」と、「ありがとうございます」という感謝の気持ちを重点に指導していく。また、考え、議論する道徳の授業の充実を推進し、人間としてのよりよい生き方を考え、実践できる生徒を育成する。

④歌声が響く学校

ウエスタ川越での合唱コンクールを学校の特色として捉え、連帯感や愛校心をはぐくむ校歌、合唱などを通じて得られるクラスへの所属感、仲間への友情、感謝など、歌うことを通じて生徒の情操面にはぐくまれる価値を大切に指導を推進する。また、学校音楽として音楽心理学の視点を活かした取組を創造し、潤いと感動のある学校環境を構築する。

⑤一人一人の夢を応援する学校

一人一人の幸福な生涯の実現(自己実現)は、教育の使命である。三年間を見通した「夢・志・目標の達成を支えるキャリア教育」を計画的に実践する。「基礎的・汎用的能力」の育成目標を明確にした計画に基づき、職場体験(ジョブ・シャドウウィングを含む)・上級学校訪問・授業体験などの体験活動や、学級活動・道徳・個人面談などを通して、一人一人に課題達成の意欲と成功のイメージを持たせ、自立と成長に向けた課題に主体的に取り組む指導・支援を実践する。

⑥学校行事を大切に、生徒と教師が共に燃える学校

学校行事は、生徒の自立と自律を促し、主体的に行動する「生きる力」を養う貴重な機会である。生徒一人一人の自己指導能力の育成のための上昇スパイラル要因となるように、①事前準備 ②肯定的評価(適切な達成目標の設定) ③追指導(成果の活用)の3力点を明確化した系統的計画的な学校行事を生徒と教師が手を携えて創り上げる。特に、学級経営の中での学校行事の活かし方について、学校として統一性を重視した指導を実践する。

⑦部活動が盛んな学校

心身ともにたくましい生徒の育成のために、顧問教師の指導のもと、異年齢の生徒が一つの目標に向かって努力し切磋琢磨していく部活動を推進する。結果としての成績ではなく、過程としての成長と、確かな所属欲求、承認欲求の充足を生徒と教師が共感できる部活動経営を推進する。

⑧きれいで潤いのある学校

「環境が人を創る」の実践のため、無言清掃を重視し、よりいっそう公共性、社会性、公徳心を磨き、育む指導を強く推進する。また、掲示活動(教育)を重視し、生徒と教職員の創意工夫と熱意によって、「学習効果」と「豊かな心の育成」が一層高まる「学ぶ環境づくり」を推進する。さらに、保護者、地域の方、そして生徒、教職員が共に、季節の花を中心に潤いのある環境づくりに取り組む。

⑨安全・安心で、規律ある学校

生徒が安全かつ安心して学校生活を送れる「居場所」の保障、好ましい人間関係の構築、それらを支える規律ある学校生活の実現を、全教職員の共通行動と情報共有によって、最優先で継続的に推進し、「いじめ0」の学校づくりを推進する。また、危機管理体制を整備し、霞ヶ関中学校防災・危機管理マニュアルに基づいた防災訓練、避難訓練を実施する。とりわけ学区内小学校との連携共通行動を重視し、安全確保と地域防災の担い手としての意識を高める指導を実践する。

⑩保護者や地域をパートナーと考える学校

保護者・地域・学校、それぞれの立場から、生徒のよりよい成長を支援するため、さまざまな交流や相互理解を、いっそう強め、子ども中心の「絆」づくりを推進する。PTA・地域の行事・地域貢献活動への生徒、教職員積極的な参加、子どもサポート・おやじの会・花組などによる学校支援活動の活性化、小学校との連携を一層充実させ、教育効果を高める。また、地域の特色・人財を活かした「地域への所属感と責任」を醸成する教育を推進する。